



内閣府(防災担当)

相模トラフ沿いの巨大地震等による長周期地震動 検討会(第1回)議事概要について

1. 検討会の概要

日 時:平成28年1月27日(水) 10:00~12:00

場 所:中央合同庁舎第8号館3階 災害対策本部会議室

出席者:平田座長、入倉委員、北村委員、小鹿委員、久田委員、福和委員、
古村委員、翠川委員、三宅委員、山崎委員、山中委員
河野防災担当大臣、加藤政策統括官(防災担当) 他

2. 議事概要

相模トラフ沿いの巨大地震等による長周期地震動について、検討の進め方や地震動の検討手法について議論を行った。概要は、以下のとおり。

- 地盤の非線形性を考慮した長周期地震動の推計に、従来の三次元差分法を用いるか、別の手法を用いるかについては、震源断層の近傍における長周期地震動の観測記録や解析結果等を基に非線形の効果はどこまで効いてくるかをまず検証した上で判断する必要がある。
- 長周期地震動の推計では、観測データに基づく十分な評価・検証を行うことが重要である。
- 軟弱な地盤が厚く堆積している湾岸部においては、地盤の効果がどのように効いてくるかを検討する必要がある。
- 神奈川県南部では、海域の地形と海水の影響を考慮する必要がある。
- 長周期地震動の推計に用いる地盤構造モデルについては、地震調査研究推進本部で検討が進められているモデルなど、最新の知見を取り入れた最良のモデルを利用すべき。
- 最大クラスの地震による長周期地震動の推計結果を公表する際には、その地震が次に来るといった誤解を与えることがないように注意して情報を出す必要がある。

<本件問い合わせ先>

内閣府政策統括官(防災担当) 付

調査・企画担当企画官 森本 輝

同参事官補佐 池田 雅也

TEL : 03-3501-5693 (直通) FAX : 03-3501-6820